

様式第8号（第8条関係）

防火対象物普通階・無窓階算定書

算定日 年 月 日
 防火対象物名称 _____
 算定者 会社名 _____
 氏 名 _____

階

床面積（A）	必要開口部面積（A/30）	有効開口部面積	算定結果
m ²	m ²	m ²	<input type="checkbox"/> 普通階 <input type="checkbox"/> 無窓階

算定開口部詳細

図面番号	位置	建具記号	開口部種別	硝子種別・ 厚さ等	床からの 高さ（m）	幅（m）×高さ（m）×所在数	開口部面積小 計（m ² ）

備 考

- 1 消防法施行規則第5条の2の規定に適合するすべての開口部を計上すること。
- 2 仕切り壁等の区画により相互に往来できない場合は、区画ごとに算定すること。
- 3 算定は、階ごと（往来できない場合はその部分ごと）に算定すること。
- 4 直径1 m以上の円が内接することができる開口部、又は幅75cm以上、高さ1.2m以上の開口部についてはその建具記号を○で囲むこと。
- 5 有効開口部すべてを記入すること。
- 6 算定書には、配置図、建具配置図及び建具表を添付し、算定した開口部を朱色で表示すること。
- 7 算定をする際に不明な点は吉川松伏消防組合普通階・無窓階判定要領を参照すること。

